

第106号



輪中の郷 おたっしや通信

社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター
わじゅうの家 結い

〒498-0039
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL http://yatomifukushikai.com



新年のご挨拶

理事長 山田 耕二

明けましておめでとうございま

す。今年もお陰様で新年を迎えられ
ました喜びと、感謝の気持ちでい
っぱいです。この喜びを皆様と共
有したいと存じていますので、本
年もどうぞよろしくお願い申し上
げます。

昨年も二年続きで、新型コロナウイルス
ウィルス・パンデミックに、この
上ない神経を使ってまいりまし
た。利用者様には面会などで、「一
滴の水も漏らさず」の如き、厳し
い制限をさせていただきました。
それは、弥富市内で新型コロナウイルス感
染者数が日に日に増え、(十二月
二十日現在、五二八名)近隣施設
でクラスターが発生して、利用者
様やご家族の方が、大変お困りな
ったことを、身に染みて感じてい
ましたので、「持ち込まない」、「感
染させない」などの予防策を、こ
んな些細なことまでもと、念を入
れた対策にご協力いただきまし
た。改めましてお礼を申し上げます。

昨年春、全員の方のPCR検査
(陰性)に続いて、いち早く五月か

ら六月に、ファイザー製ワクチン
を二回接種していただきました
が、一月から二月にかけての厳寒
期や乾燥期に、先進国や発展途上
国でも、新型の新型と言われる、
オミクロン株が発生していますよ
うに、第六波が心配されると、医
療専門家は警鐘を鳴らしています
ので、完全な終息までは少しも気
が抜けません。

インフルエンザ予防接種も、昨
年末に全員の方に接種していただ
いていますが、免疫力や抵抗力も
低下してまいりますので、高齢者施
設故に蔓延しますと、事態は早急
に激変して、生死にかかわってま
いりますので、安心はできません
。もうしばらくは、インフルエ
ンザと新型コロナウイルス変異株
の、ブレイクスルー感染などに、
神経を張り巡らせて、運営をさせ
ていただきたいと存じます。ご理
解とご協力のほど、よろしくお願
い申し上げます。

昨年は、2020東京オリンピ
ック・パラリンピックが、新型コ
ロナ渦の為、異例の一年遅れで開
催されました。日本勢の活躍の素

晴らしさと、若者のメダリストの
多さに、日本国民の大多数が、大
きな拍手を送ったと思います。多
くの感想を述べたいところですが、
今回は弥富市出身、最初のオリ
ンピック選手、谷諒(たにあつ
し)様を、ご出身のパナシヨップ
弥富経営の谷様の了解を得ていま
すので、ご紹介をさせていただきます。

弥富市前ヶ須町生まれ(昭和八
年・一九三三年)、弥富中学校から
津島高校経由で早稲田大学へ、そ
こで大学選手権(インターカレッ
ツIIインカレ)で数々の日本新記
録を出されたので、昭和三十
一年(一九五六年)オーストラリ
ア・メルボルン大会に日本代表選
手として出場されました。

(メルボルンは南半球で、オペ
ラハウスやハーバーブリッジで、
有名な観光地シドニーから更に、
飛行機で首都キャンベラの上空を
通って、約二時間西に向かった所
で、日本の裏側とも言えます。イ
ギリス風で落ち着いた、綺麗な街
並みで、市内をトラムが走る素敵
な都市です)

谷様は、木曾川・筏川(木曾川
の支流)その昔長野県方面から、
名古屋港に筏を流した由来)・鍋田
川(木曾川の弥富からの支流です
が、伊勢湾台風以後締め切って、

今は流れてはいません、名前だけです)の水郷地帯で育ち、泳ぎは群を抜いて早かったと聞いていました。

私はその頃、小学生から中学生になった時代で、住まいは一軒おいたお隣同士で、ご両親様からも、声を掛けていただいたり、同級生のお兄様でしたので、遠くからでも注目して眺めていました。

水泳時の六尺禪姿もきりりとして、黒の詰襟の学生服に角帽(大学生が被る、上部が菱形になった帽子)姿も、スタイルの良い長身でしたので、おぼろげにはありますが、「格好良いなー」と、記憶に残っています。

オリンピック時は、トースターより大きめの木箱で、真空管式のラジオに耳を傾けていました。当時のテレビはまだ、今のように一般家庭に行き届いていませんでしたので、多くの日本国民は、ラジオの短波放送で、声が大きくなったり、電磁波の影響で突然聞こえが悪くなっても、耳を寄せて、せめて順位だけでも知りたいと、応援関係者は固唾をのんで、耳を傾けてうなずきながら、盛んに拍手を送っていました。

こんな幼少期の思いが、残っていただけで、私が東京の大学生になって、ラグビーの試合(春の

オープン戦)練習試合は、各大学のグラウンドで試合をして、秋のリーグ戦(公式戦は、青山秩父宮ラグビー場で試合です)で、早稲田大学を訪れたとき、水泳部(稲門会)のプールは何処にありますか?と尋ねて、その活躍にあやかりたいと、コンクリートむき出しの鼠色したプールを、垣根越しに眺めて、ここで泳がれたのかと、感無量の思いでした。その頃の私は、上京して間もなく、一年生で

新人と呼ばれ、二軍入りしていても、上級生の試合着や下着類、ボールやバケツ、やかんを振り分け荷物にしたり、重い荷物を引きずるように持って、早く一軍選手や上級生になって、身軽で試合会場に行きたいものだ、向上心に溢れていました。そしてまた、メルボルンを高校生のラグビーチームを連れて訪れる度、南十字星(サザンクロス)やフィリップ島のペンギンパレードをみる前に、オリンピックの水泳会場は何処ですかと聞いて、その付近を通るときは、偉大な記録保持者、谷選手の活躍を、両手を合わせて忍んでいました。

もっと詳しく、記録などお知りになりたい場合は、インターネットやスマホでも、検索してみてください。

今ではここ弥富市から、数名のオリンピック選手が選出されて、大活躍されていますが、日本が誇る素晴らしい記録保持者の水泳選手が、この弥富市から出られていたことを、ご紹介させていただきました。この近くには谷様の同級生の方も数名いらっしゃいます。今後も弥富市から、世界に羽ばたく選手の出現を期待しています。(読まれて、素晴らしい方と思われましたら、心の中で大拍手をお願いいたします)

さて、私事で大変恐縮ですが、昨秋恥ずかしながら、拙書四冊目を出版いたしました。

一冊目と三冊目の続きといたしまして、過去の生い立ちから、教員時代、ラグビーの監督時代に感じたことや、残念無念悔しかったことなどを書き綴りました。その間に「おたっしや通信・新年号」を入れさせていただき、花を添えさせていたいただいています。

一冊目は、高校生ラグーマンが最も憧れる、東大阪市花園ラグビー場に出るまでの、苦しみや喜び、そして努力の結晶を書きました。題名は「花園に舞う青春」です。

二冊目は、花園十一年連続、西陵二十九回目の出場で、幸運にも全国優勝を成し遂げることが出来

ました。北海道から九州までの、多くの方々から「よくやった」「感動した」と、特大段ボール三箱に入りきらない程の、お手紙を頂戴いたしました。お蔵入りさせてはもったいないと、「茜色の手紙」と題しまして、一冊の本にまとめました。

三冊目は、当時のラグビー月刊誌「ラグビー・ワールド」に三年半ほど、「西陵商ラグビー部物語」として30回、連載していたものに、新聞の連載物など手を加えまして、一冊にまとめました。これを「走れ・茜色の天使たち」と命名して世に送り出しました。

これらの本と、西陵ラグビー部創部五十周年記念誌「闘魂」、またニュージールランドや、オーストラリアに遠征した報告書は、全て弥富市役所協の図書館や、弥富中学校図書館に寄贈させていただきました。機会やお暇がありましたら、是非お読みいただきたいと存じます。

その後、まだ書き足りなかった事や、その後起こったことなどを、四冊目としまして、この度は「茜色のゴール」と題しました。

「人生こんなものか」と、理不尽続きでも、感謝の思い出などをまとめて、製本させていただきました。この本も弥富市図書館や弥富

市内三中学校に寄贈させていただきましたので、機会がございましたら、ご覧下さいませ。また、中高生や関係者にご紹介をしていただきましたら幸甚でございます。

当然、輪中の郷や弥富市デイサービスセンター及び弥富市南デイサービスセンターにも、寄贈させていただきました。興味ある方は貸し出し用を準備してありますので、お申し出ください。

最後になりましたが、海南病院や歯科医師会等の医療関係の皆様、民生委員やJA関係の皆様、中山川原欠地域の方々、そしてボランティア活動の方々に、理事を代表いたしまして、新年のご挨拶と、日頃の感謝を申し上げます。

利用者様や、そのご家族様の多くの方々から、数々の「お礼の言葉」をいただいておりますが、今年もこのお言葉に甘えることなく真摯に精進して、誠心誠意努めてまいる所存でございますので、忌憚のないご意見をお寄せいただきたく存じます。

今年寅年が、皆様方にとって健康で明るい、素晴らしい年になりますように、ご祈念申し上げます。また、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて

弥富市長 安藤 正明

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

平素は市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市におきましては、昨年4度目の緊急事態宣言が解除された後、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者は激減をいたしました。これは、多くの市民の皆様がワクチン接種にご協力をいただいた効果、並びに感染防止対策の徹底によるものと考えます。

また、忘れてならないのは、大変厳しいコロナ禍のもとで、自らの感染リスクを顧みず、前線で医療活動にあたっていただいた医療従事者の皆様の献身的なご労苦があったからこそであります。心から感謝申し上げます。

市民の皆様には、これまでご不便やご負担をおかけしておりますが、コロナ収束までもうしばらくマスク・手洗い・手指消毒などの感染防止対策の徹底をお願いいた

します。

さて、昨今は、少子高齢化や単身世帯の増加など、福祉を取り巻く社会環境が大きく変化するとともに、そのニーズも複雑かつ多様になっております。そのような中、貴法人におかれましては、地域に根ざした施設として事業を展開しておられ、本市の福祉向上に大きく貢献していただいております。敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

高齢化が進展する中、本市の高齢者支援につきましては、弥富市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の基本理念であります「生涯健康、生き生き、住み慣れた地域で安心できるまち やとみ」の実現に向け、引き続き医療・介護等の連携、認知症施策の推進、介護予防・日常生活支援総合事業の推進等、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進してまいります。

また、障がい者支援につきましては、5年目を迎える弥富市障がい者計画に基づき、障がいのある

方が差別なく共生できるまちづくりに向け努力してまいります。その一つとして、障がいのある方が地域の中で自立した生活ができるよう、貴法人運営の障がい者グループホーム「わじゅうの家 結い」を始めとした共同生活の場の確保について、関係機関等と連携を図って取り組んでまいります。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴法人の益々のご発展と関係各位のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。



入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。

工藤万造さん



令和3年9月22日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。

入所から3か月が経過し、最近ではほーむで過ごすことに慣れてきたのか、笑顔がより多くみられるようになりました。

食事前の口腔体操やレクリエーションを行う時には、他の方に負けないくらい大きな声を出して元気に身体を動かされています。

また、10月にお誕生日を迎えられた時には、素敵な笑顔とVサインをみせていただきました。

これからも寒さが続きますが、体調を崩さないようお過ごしください。

末永くよろしくお願い致します。(加藤秀斗)

坂野 之さん



令和3年11月8日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。

入所後2か月程になりますが、新しい環境に対し不安な様子はみられず、他の住人さんや職員に対し笑顔で挨拶や会話をされています。

ほーむで行われるレクリエーションにはとても意欲的で、毎回楽しそうに参加されている姿がみられます。

また、お食事もとても楽しみにされており、好き嫌いなく完食されています。

この先さらに寒さが厳しくなっています。毎日温かく笑顔で元気に過ごしていただけるようサポートしていきます。

末永くよろしくお願い致します。(大畑秀樹)

新入職員紹介



滝川梨詠

私は高校生の時、一緒に暮らしていた祖母がきっかけで、福祉に興味をもつようになり、輪中の郷でボランティア活動も体験しました。そして高校卒業後、輪中の郷で7年程勤務させて頂きました。

その後は他地域のデイサービスやグループホームでの勤務を重ねてきました。その中で、祖母が福祉サービスを利用する事もあり、改めて家族の立場となり沢山の福祉関係の方々に関わって頂き、助けて頂いた事も大きな経験でした。9月から介護福祉士として働かせて頂いておりますが、まだまだ業務内容を日々学んでいるところです。

利用者さんに笑顔で過ごして頂けるよう頑張っていきますので、これからもご指導の程よろしくお願い致します。

(弥富市南デイサービスセンター 介護福祉士)

元気は宝物 健康コラム

「冬の水分補給」

皆さん、最近水分補給していますか？

夏は熱中症対策として常に水分補給をしますが、冬はどうでしょう？

人間の体の60%は水分です。風邪予防に有効とされる一日あたりの水分摂取量は1・5ℓ〜2ℓですが、65%の人が不足しているという結果が出ています。

冬場でも尿や便、汗などで約2ℓ〜2・5ℓの水分が排出していくので、乾燥した状態であると風邪やインフルエンザのウイルスは活発に活動します。

喉や鼻の粘膜をうるおして、ウイルスの侵入を防ぐとともに、侵入したウイルスを痰や鼻水で体外に排出できるように、こまめな水分補給を心がけましょう。

(測之上香絵)



SMILE ししぴ

やわらかお餅のお雑煮

お正月に食べるものといえばお雑煮です。お餅が食べられない方でも、食べられるように、お豆腐と白玉粉・上新粉を混ぜることで、お餅に近い風味を楽しめるお雑煮を紹介します。

材 料

人参・・・10g	花麩・・・4個
蒲鉾・・・4切れ	正月菜・・・20g
ソフト豆腐・・・50g	白玉粉・・・20g
上新粉・・・5g	出し汁・・・200ml
塩・・・少々	薄口醤油・・・2ml
かつお節・・・少々	



作 り 方

- ① 豆腐はキッチンペーパーに包み軽く水気を切ってボールに入れ、くずして滑らかにして白玉粉・上新粉を混ぜ合わせなじませます。なじんだら形を整えお餅団子を作ります。
豆腐の水分のみで混ぜ合わせるのので、水切りしすぎに注意して下さい。
お餅団子を熱湯で茹で、5分位で表面に浮いてきたらすくい上げます。
- ② 熱湯に塩を少々入れて型抜きし、2mm程度に切った人参と2cmに切った正月菜を下茹でします。
- ③ 花麩は2～3分水に浸して戻します。
- ④ 出し汁に薄口醤油・塩を入れて味を整え、人参・花麩・蒲鉾を入れて温めます。
- ⑤ お椀に盛り付け正月菜をのせ、かつお節を振りかけて完成です。

正月菜とは？

もち菜とも呼ばれ明治時代より尾張地方で栽培されている伝統野菜です。正月の雑煮には欠かせない野菜として親しまれています。小松菜と似ていますが小松菜より葉の色が淡く柔らかいのが特徴です。

調理士 山本佳居

わじゅの家族結い

「祝祭日営業開始」

令和3年11月より祝祭日も利用いただけるようになりました。
 11月3日(第1回)は、男性4名・女性2名の計6名利用されました。

日中は、スカイ(男性)とマリ(女性)を繋ぐ扉を開放し、CDを聴いて歌ったり踊ったり散歩に行ったりと、ゆったり楽しくと過ごされました。

昼食は、スタツフ手作りの特性スパゲッティー「美味しい!」と言語で発せずとも、笑顔と口の周りのケチャップが美味しさを物語っているようでした。

11月23日(第2回)は、男性4名・女性1名の計5名利用されました。

この日は、クリスマスツリーの飾りを折り紙で作ったり、ホームの周りの落ち葉を掃いたり、普段の散歩コースのみみじが鮮やかに色づいていたので写真を撮ったりと、季節を感じていただきました。

今回、休日を「結い」で過ごされたことで、今までスタツフが見たことがない表情や行動を目



にすることが出来ました。例えば、ほうきの使い方が上手、工作のりを上手に塗ることが出来る、男女問わず一緒に笑顔で過ごすことが出来る、など、新しい発見がありました。

今後、様々な休日イベントを企画していると、平日でも出来るようなことはどんどん取り入れ早速夕食後、時間を決めてスカイとマリンの扉を開放し、お気に入りのCD視聴会を自由参加で行っております。

また、利用者様やご家族様のニーズにもっとお応えできるように土日営業も行っていく予定です。
 (後藤安代)



デイサービスセンター輪中の郷

「長寿のお祝い」



されます。センターへ来所されると仲の良い方とお話しをし、レクリエーションは必ず参加されます。

100歳を迎えた年からお誕生日が近くなると、厨房の皆さんの協力もあって大好物のエビフライタワーを作って頂き喜ばれています。

当センターでは、令和3年に106歳を迎えた利用者様がいらっしゃいます。

弥富市から長寿のお祝いで、ご自宅にて市長より表彰されました。

いつもお元気で、身のまわりのことは、ほとんどご自分でされ新聞などは裸眼で読まれます。

また、手先が器用で編み物も

いまでも
 元気で
 長生きしてね!

パワフルで元気モリモリの姿に職員一同和ませてもらっています。
 感染対策で窮屈なことばかりですが、いつもご協力ご理解いただいております。
 これからも健康でお元気に来ていただけるよう、職員一同心よりお待ちしております。
 (安田洋子)

弥富市デイサービスセンター

「お誕生日会」



当センターでは、毎月お誕生日会を行っています。



各月ごとにお誕生日を迎える方たちの利用日に合わせてお祝いを行います。あらかじめ担当の職員が写真を撮りますが、利用者様の中には、この日のために美容院に行き、写真撮影に挑む方がいます。またある方は、「服

はこれで良い？次の時にしてもらおうかな」と言われる方もいます。

今年はきれいな紙皿に写真を貼ってお渡ししました。

昼食は、松花堂弁当のように盛り付けてあり特別感があります。歳はひとつとりますが、皆でお祝いをしてもらうと嬉しそうです

これからも、笑顔で元気に楽しくデイサービスをご利用ください。お待ちしております。

(松江睦子)



じいばあば
だいすき

弥富市南デイサービスセンター

「心も身体も元気体操」



当センターでは、冬らしい寒さが身にしみる日々を吹き飛ばしてくれればかりの元気な姿が毎日みられています。今回は時折行っている全身を使った体操を紹介します。



普段から動かしている動作は、皆様難なく出来るのですが、両手を違った動きであったり、考えな



がら動かすといったことは苦戦され、見本となる職員も間違えることがあり、皆様から「違うよ」と笑いながら指摘されることもあり

今後も皆様が真剣に取り組め、その中にも表情が豊かになることを提供していこうと思いません。(山田圭一)



台所の薬草

「おせち食材」

お正月に頂くおせち料理の食材には、

由来や意味があることを数年前に二回ほど掲載させて頂きました。今回も少し紹介させて頂きますので、日本の伝統文化の一つを思い出すきっかけにしてください。



・なまこ：形が「米俵」に似ていることから、豊作を願う意味を込めて、酢の物に使われることが多いです。

・たこ：「多幸(たこ)」と言われる縁起ものです。字のごとく、たくさんの幸せを願う意味があります。

・くるみ：硬い殻に覆われていることから、家庭円満や実りを願う意味があります。

・ぶり：地域差はありますが、成長の過程で名前が変わる「ぶり」

そのため出世魚と呼ばれ、立身出世を願う意味があります。おせちの食材一つ一つに込められた沢山の願いのように、今年も新しい年が皆様にとって良い年でありますように、健康で平和にごせますように。

(星野芳江)

亡くなられた方々

- ・黒宮早夫さん 八十四歳
令和三年九月十五日
- ・篠田武さん 八十八歳
令和三年十月二十二日
- ・伊藤すゑのさん 八十八歳
令和三年十一月二日
- ・仲村和美さん 八十四歳
令和三年十一月十六日
- ・伊藤克己さん 八十歳
令和三年十一月二十二日
- ・川上文雄さん 八十歳
令和三年十一月二十四日

皆さんのご冥福をお祈りいたします。



お知らせ

この度、輪中の郷エレベーター棟新築工事を、今年の3月末まで施工いたします。

住人さん・ご家族・ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

ご寄付
ありがとうございます
ございました

9月1日～11月30日

- ・中山自治会様
- ・木下たづ様
- ・奈良明美様
- ・渡辺重明様

編集後記

明けましておめでとうございました。

昨年も新型コロナウイルスにより、たくさん我慢を強いられる年になりました。徐々に緩和はして

いますが、これからも感染対策に心がけ、早く通常の生活に戻りたいです。

さて、令和になり早四年目に突入です。一年が過ぎるのが本当に早く感じるようになりました。子供の頃はあんなに長く感じていたのに。これが歳をとったということなのでしょうか。

この「大人になると一年が早く感じる」というのは、気のせいではなく法則があることを知っていましたか？簡単に説明すると、五十歳の人の一年は五分の一、五歳の人の一年は五分の一。五歳の人にとっての一日は五十歳の人の十分分に当たるといふことです。

また、子供の頃は何をするのも初めての事が多く毎日が新鮮でも、大人になると新しい経験が減り、日々の生活に新鮮味がなくなるからとも言われています。しっかりと私は今四十代、これからのと早く感じるようになるのでしょうか。お年寄りはどうなスピードに感じているのでしょうか。

自分はもちろん、住人さんや利用者さんにも退屈な生活ではなく、ハリのある日々を過ごしていただけたら、一日一日を大切にしていきたいと思えます。

(伊藤亜紀子)